

国内希少野生動植物種の提案制度とその対応について

(1) 概要

- 種の保存法第6条第5項に基づき、絶滅危惧種の保存を多様な主体と連携しつつ推進する観点から、国内希少野生動植物種に係る提案を広く国民から募集する。

(2) 経緯

- 平成26年4月策定の「絶滅のおそれのある野生生物種の保全戦略」に提案募集制度を位置づけ、同年9月に募集を開始した。
- 平成29年6月の種の保存法の改正において、法律に提案募集制度を位置付け、平成30年4月には、「希少野生動植物種保全基本方針」において、種の保存法第6条第2項第3号に基づき「国内希少野生動植物種に係る提案の募集に関する基本的事項」を追加した。
- 平成31年1月より、提案募集の実施方法を一部変更した。
 - ・効果的と考えられる保存施策の提案項目の追加
 - ・特定第一種国内希少野生動植物種への変更など、カテゴリ変更の提案項目の追加

(3) 募集方法

- 環境省ウェブサイトにおいて随時募集。
- 電子メール又は郵送で受付。

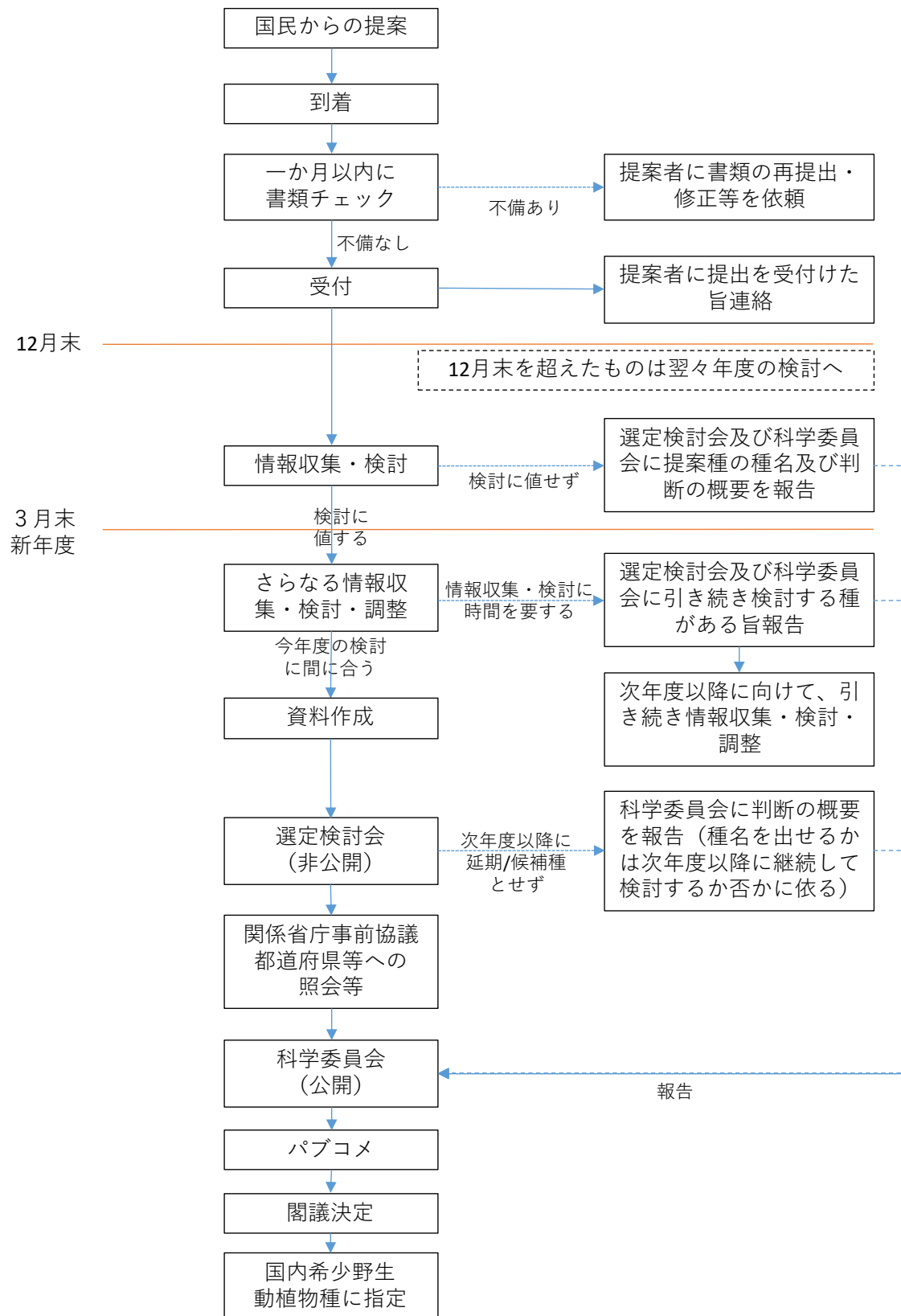
(4) 提案種の取扱い

- 受け付けた提案については、適切な情報管理の下、当該種の減少要因や、種の保存のための規制及び施策を実施することの効果などについて、当該種の生態的特性などに関する専門の学識経験を有する者の意見を聴き、当該種の選定又は解除をすべきかどうか検討する。(検討の流れは別紙1のとおり)
- 対象種の存続に支障を来す場合等を除き、可能な範囲で検討経緯等を公表する。

(5) 提案種への対応状況（別紙2及び別紙3参照）

- 募集を開始した平成26年度から令和元年12月末までの間に59種についてのべ74件の提案を受け付けた。このうち昨年は1種1件の提案を受理。
- 提案のあった種のうち20種は国内希少野生動植物種に指定済。今年度は1種を指定する予定（ツシマノダケ）。
- 残る39種のうち8種は絶滅のおそれが低いことから現時点では指定しない方針としており、それ以外の31種については昨年提案を受理した1種も含め、引き続き検討。

提案種の検討の流れ



別紙 2

これまでの提案種の対応について

(種数)

分類群	提案受理	指定済	検討見送り	引続き検討
哺乳類	5	4	0	1
鳥類	7	3	0	4
爬虫類	8	3	2	3
両生類	2	2	0	0
魚類	7	2	0	5
昆虫類	8	3	1	4
貝類	1	0	0	1
陸域その他無脊椎	1	1	0	0
サンゴ類	1	0	1	0
海域その他無脊椎	3	0	3	0
維管束植物	16	2	1	13
合計	59	20	8	31

※上記加え、令和2年以降は4種4件の提案を受理。これらの種については情報収集及び検討を実施しているところ。

これまでの提案種の対応について（指定済みの種及び検討見送りとした種）

表：提案種の検討状況と対応方針案

分類群	和名	RL カテゴリ	提案 内容	提案 カテゴリ	検討状況・対応方針案
哺乳類	オキナワトゲネズミ	CR	—	—	H28.3 指定済
	アマミトゲネズミ	EN	—	—	H28.3 指定済
	トクノシマトゲネズミ	EN	—	—	H28.3 指定済
	ケナガネズミ	EN	—	—	H28.3 指定済
鳥類	シマアオジ	CR	—	—	H30.1 指定済
	チュウヒ	EN	—	—	H30.1 指定済
	アカコッコ	EN	—	—	R02.2 指定済
爬虫類	クロイワトカゲモドキ	VU	—	—	H27.5 指定済
	ニホンイシガメ	NT	—	—	絶滅するおそれが高いことから、 現段階では、指定を行なわない。
	リュウキュウヤマガメ	VU	指定	特 定 第 二 種	R02.2 国内希少野生動植物種として 指定済
	サキシマカナヘビ	VU	指定	特 定 第 二 種	R02.2 国内希少野生動植物種として 指定済
	アオカナヘビ	— (LP)	指定	特 定 第 二 種	絶滅するおそれが高いことから、 現段階では、指定を行なわない。
両生類	アマクササンショウウオ	CR	—	—	H27.12 指定済
	ツクバハコネサンショウウオ	CR	—	—	H27.12 指定済
魚類	セボシタビラ	CR	指定	国 内 希 少 種	R02.2 指定済
	カワバタモロコ	EN	指定	特 定 第 二 種	R02.2 指定済
昆虫類	トワダオオカ	—	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現 段階では、指定を行なわない。
	アカハネバッタ	CR	—	—	H28.3 指定済
	アサマシジミ北海道亜種	CR	—	—	H28.3 指定済
	ヒメチャマダラセセリ	CR	—	—	H30.1 指定済
陸域その他	オガサワラヌマエビ	CR+EN	—	—	H31.2 指定済

分類群	和名	RL カテゴリ	提案 内容	提案 カテゴリ	検討状況・対応方針案
無脊椎					
サンゴ類	アオサンゴ	—	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現段階では、指定を行わない。
海域その他無脊椎	アカサンゴ	NT	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現段階では、指定を行わない。
	モモイロサンゴ	NT	—	—	同上
	シロサンゴ	NT	—	—	同上
維管束植物	タケシマシシウド	—	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現段階では指定を行わない。
	シマキンレイカ	CR	—	—	H28.3 指定済
	アマミチャルメルソウ	CR	—	—	R02.2 指定済